

# 五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3  
TEL. 26-3600 FAX. 24-1474



## 『虎伏城のトラ』

築城の地に定めた吹上ノ峯は、東西に長く頂上が二つに分かれたヒョウタン形、見上げるとトラが獲物を狙って身を伏せている姿に見えるので、いつのころからか「虎伏山」と呼ばれるようになり、和歌山城の別名として「虎伏城」といわれるようになった。又、築城の際、近郊に住む“おとら”という娘が人柱にされ、彼女を偲んで、虎臥・虎伏の名が始まったという説もある。

## 目 次

年頭所感……………和歌山支部長……………2	百日紅の木……………6
新年のごあいさつ……………和歌山税務署長……………3	支部行事報告……………7
誰もが成功する……………4	退会会員報告……………8
税理士会淡路島研修バスツアー……………4	委員会だより……………8
年男・年女に当たる会員紹介……………6	

## 年 頭 所 感

和歌山支部長

岡 田 泰 介



あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族共々ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は、会務運営に何かとご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

かえりみますと、昨年は4月の消費税改正と行財政改革に振り回された一年であったように思います。一方金融界では4月の日産生命の破綻、11月には三洋証券の会社更生法の申請・同じく北海道拓殖銀行の営業譲渡・また、戦後最大の山一証券の倒産と金融機関の破綻が相継ぎましたが、日本丸の前途は多難なものがあります。しかし明るい話題では、サッカーのワールドカップ出場決定や、土井隆雄さんの日本人初宇宙遊泳成功があり、橋本首相の火だるま行革もほぼ決着を見ました。今後に期待を致したいと思えます。

本年2月には冬季オリンピックが長野県で開催されますし、4月には金融ビッグバンの手始めとして、為替の自由化が始まります。98年度税制改正では土地譲渡課税の軽減や法人税率の税率引き下げによる内需拡大策と円高による輸出の増大等で、昨年よりは景気はよくなること

を確信いたしております。

さて、昨年5月の第17回定期総会において支部長に選任されてより7ヶ月半、支部連会長をも兼務しつつ商工会連合会や専門士業士との折衝を通じて感じたことは、我々税理士は規制に守られているということをつくづく感じました。考えようによれば、非常にありがたいことですが最近の世間の風潮はますます規制緩和を求め、何かことがあればすぐ損害賠償を求めるといような方向に向かっています。資質向上のための専門知識の研修はもちろんですが、特に形式面の実務研修の必要性を痛感したところです。いずれにしても、税理士としての社会性・公共性を常に自覚し、納税者の負託にこたえるべく、微力ながら健全な業界の発展のために尽くす所存であります。今後は諸先輩の築かれました、和歌山支部の良き伝統を尊重しつつ、来たるべき21世紀に向けた会務運営の実現をめざしていきたいと考えております。

また、間もなく平成9年度の所得税・消費税・贈与税の確定申告期を迎えますが、本年も例年通りの規模で、地区納税相談を実施いたします。会員の皆様には、税務援助の主旨をよくご理解のうえ、ご協力の程よろしくお願いいたします。

終わりにになりましたが、この新しい年が、会員皆様方にとりまして、ますますのご発展の年になりますよう、心から祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ

和歌山税務署長

佐野 信 重



新年おめでとうございます。

近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては、お健やかに希望に満ちた平成10年の新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

年頭に当たり謹んでごあいさつを申し上げます。

平素は、会員の先生方には税の専門家として、税務行政に対しまして深いご理解と多大なるご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

お陰様で、署務運営も順調に推移しており、ここに厚く感謝申し上げます。

本年もなお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、私どもといたしましては国民から信頼される税務行政の推進に向け一層の精進を重ねてまいり所存であります。

さて、最近の管内の景気は、緩やかな回復傾向にあるものの、このところの回復の足取りは鈍いものとなっているようであります。

ところで、我が国の経済社会の中長期的な姿を展望しますと、人口構成は、少子高齢化し国際化、情報化がこれまでもまして進展していくと見込まれます。

こうした非常に大きな時代の変化の中において、行政が的確に対応することが求められており、現在、我が国は財政構

造改革や金融システム改革あるいは経済構造改革といった、諸問題に取り組んでいるところであります。

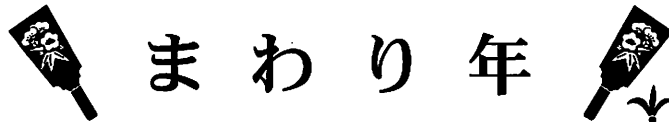
また税制面におきましても直面する経済社会の構造変化や諸改革に対応すべく変革していくことが求められていることから、税制論議が進められているところであり、国民の税に対する関心も一段と高まっております。

このような状況の下、私ども税務に携わる者としましては、「適正・公平な課税の実現」と「期限内収納の確保」という私どもに課せられた使命の達成を図るため、経済情勢の変化を十分見据えた署務運営に配意し、納税者に信頼される税務行政の確立に努めなければならないと考えております。

更に、月が変わりますと確定申告期を迎えることとなりますが、税の専門家として豊かな経験と高い見識をお持ちの先生方の今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、新しい年が近畿税理士会和歌山支部のますますの御発展と、会員の先生方の御繁栄の年であることを祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。





# まわり年

## 誰もが成功する

厚生担当副支部長

溝上裕章

寅年生まれということで、原稿の依頼をされましたので、仕事を通じて日頃感じていることを少し書かせてもらいます。

経営者として成功する人とそうでない人とは、生まれながら違うのだろうか！その疑問を常に懐いています。

先日も知り合いの会社が潰れた話を耳にしました。会社を潰さないで継続的に成長発展させていくことが、いかに難しいことか！

「つぶれる会社」「もうかる会社」の分岐点は何処にあるのだろうか！それには数々の要因があるはずです。倒産会社の社長が、有能な経営資質の備わった人であったならばたして潰れていたであろうか！中小企業は、ほとんどが同族会社である。自分の首を切って他の人を社長の座に据えるはずがない。

私が事務所の経営をしていく上においても重大な問い掛けであります。

会社の成功は次の公式により成り立つと言われる。

「会社の成功」＝「哲学」×「技術」×「道具」×「人間的要素」

これでも分るように将来有望な業種の会社であっても、この会社を支える人間によって成功もし潰れもするのである。

会社を大きくしたり、富を築いたり、

家族を幸福にしたりというためには一つの「成功するルール」があるのではないか。言い換えれば、人間誰もがヤル気を持って成功するルールを正しく活用すれば成功することになる。

会社を成功させるには、成功させるという信念を持ち、1年、5年、10年後の会社のあるべき姿（目標）を明確化し、その目標に向かって行動する。目標を成し遂げる上において自信・忍耐・謙虚・人間理解等の要素が必要になって来ることから、自分の心構えも変わってくる。自分の心構えを変えない限り何も成し遂げられない。最後に落ち着く所は、人間の問題となる。リーダーは「リーダーとしての条件」・社員は「社員としての条件」を備えて、挑戦する人間の集団のみが生き残ることが出来るのではないのでしょうか！

最近、怠けがちになった自分に、開業当時の原点・基本に帰りなさいということで書かせてもらいました。

## 税理士会淡路島

### 研修バスツアー

松本ひさ子

10月8日、素晴らしい秋晴れに恵まれた一日、淡路島バスツアーに参加させて頂きました。あまり旅行する機会のない私にとっては、以前から心待ちにしていた旅行でした。



深日港よりフェリーで津名港へ渡り、のどかな道のりをしばらくバスにゆられ、最初の目的地“淡路ファームパーク”へ到着しました。

先ずは、コアラをかたどったテーマ花壇の前で記念撮影を済ませ、正面ゲートでもらった特製牛乳を片手に、まるで子供の遠足のような気分で散策しました。丁度、コアラは食事中で、ユーカリを食べる仕草はとても愛らしく抱きしめたいくらいでした。コアラは、一日のほとんどを寝て暮らしているとか、何とも羨ましいことです。

美しい植物園を後にして、次の目的地、福良の「大鳴門橋記念館」へ向かいました。そこで、重要無形民俗文化財の「淡路人形浄瑠璃」を鑑賞させて頂きました。

淡路人形芝居は、約500年前、西宮から「傀儡師」の元祖と言われる百太夫が淡路島を訪れ、地元の人に伝えたのが始まりだそうです。

当日の出し物は、よく知られている「傾城阿波鳴門巡礼歌の段」でした。情感溢

れる義太夫による浄瑠璃の語りと、重々しくひびく三味線による伴奏が相まって、母と子の絆をしみじみと、うたいあげておりました。

最後の舞台挨拶に立った、人形遣い、太夫、三味線引きをみて、彼らの若さと、浄瑠璃にかけるひたむきな情熱に何よりも心打たれました。

そして、日も陰る頃、洲本温泉に到着。のんびりとお湯に入って、お待ちかねの夕食となりました。

「今回の旅行は、グルメツアー！」の前評判通り、瀬戸内の海の幸をふんだんに盛り込んだ素晴らしいものでした。十分に満喫したところで、又、記念撮影をし、その後帰路へ。

今回の旅行は、自然と文化に触れ合い、美味しいものを頂き、本当にリフレッシュできた一日でした。

最後になりましたが、今回御世話して下さいました諸先生方、又、ご一緒させて頂いた諸先生方、本当に有難うございました。そして次回も楽しみにしております。



**=年男・年女に当たる会員=** (入会順・敬称略)

藤 木 重 男	山 田 豊
勝 田 晃 夫	坂 本 善 道
西 川 宏	山 本 和 明
西 野 弘	西 田 和 生
田 原 準 平	石 川 泰 廣
溝 上 裕 章	吉 原 英 夫
坂 口 和 代	高 井 由 起 夫
西 川 格 央	松 本 ひ さ 子
	以上16名



おめでとうございます

**雑 感**

**百日紅 (ひゃくじつこう) の木**

峯 尾 雄 二

百日紅の木とは大辞泉によれば、ミソハギ科の落葉高木、高さ3から7メートル、幹は薄い紅紫色で皮ははげやすく跡が白くなり滑らか、葉は楕円形、夏から秋にかけてしわの多い紅・淡紫・白などの六弁花をつける。通称「猿滑りの木」と呼ばれたしまれている。

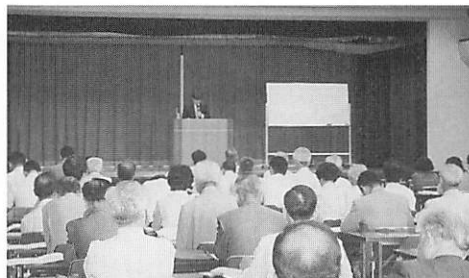
4年前の事、ある人から紫色の花をつける猿滑りの木があることを聞かされ、その花の咲いている家の庭に連れて行って頂きました。その人の言う事には紫色の花をつける木はめずらしいとのことでした。それまでは全くとっていいほど気にもかけなかったこの木、この日を境に車に乗っていても街を歩いていても

よろきよろ……。なるほど紅や白の花は咲いていても紫色は見当たりません。今では何本かの木を見つけてはいますが…。

2年前の春ついに紫色の花をつける木の枝を頂き、我が家の庭先に植えたところその夏に早くもきれいな花が咲きました。そして去年も約2ヶ月の間、前年にも増してたくさんの花をつけました。何とも言えないほどきれいですよ！ さあ和歌山支部の皆様、今年の夏はこの紫色の花をつける幻とっていい百日紅の木を探してみてください。



# 支部 行事 報告



9月1日実務研修会 (JAビル)



9月25日定例協議会 (紀の国会館)



10月8日研修バスツアー (淡路ファームパーク)



10月17日ボーリング大会 (インターボウル)



10月19日税金ゼミナール  
(和歌山マリーナシティわかやま館)



11月4日優良事業所見学研修会 (オークワ食品センター)



11月7日「税を知る週間」街頭キャンペーン



11月12・13日「税を知る週間」無料税務相談  
(丸正百貨店)



12月12日年末懇親会 (華月殿)

## ◆◆◆ 退会会員報告 ◆◆◆

退 会
-----

会員数	平成10年1月10日現在227名
-----	------------------

古 谷 明 (死亡) 平成9年9月16日

小 谷 武 三 (死亡) 平成10年1月7日

—— 謹んでお悔み申し上げます ——

## ◆◆◆ 委員会だより ◆◆◆

### ◎業務委員会

新書籍の備え付け紹介

○DHCコンメンタール消費税

○税務書式総覧

○資産税実務問題シリーズ

- ・譲渡所得税の仕組み
- ・収用交換等の課税の特例
- ・事業用財産の譲渡の特例
- ・居住用財産の譲渡の特例
- ・土地等の評価
- ・株式の評価
- ・延納・物納
- ・事業承継対策

○公益法人の運営と会計・税務

○家庭の成人病相談

○家庭の法律相談

○家庭の冠婚葬祭

○税理士事務所文例集

○税理士のための行事百科

事務局に備え付けていますので、日常業務にご利用下さい。(短日の貸出も致します)

### ◎税対委員会 行事予定

○2月2日(月)

午後1時30分～3時30分

確申期納税相談説明会

於 サンピア和歌山

○2月23日(月)

午前10時～午後4時

税理士記念日 無料相談所開設実施

## 👁 編 集 後 記 👁

新年あけましておめでとうございます。

本年も「五十五万石」をお引立てくださいますよう、よろしく願い申し上げます。

早いもので「五十五万石」も平成7年11月創刊以来、今回で第5号発刊に至りました。広報部スタッフ一同、より充実した誌面をめざして努力していく所存です。

会員諸兄姉には原稿や写真、アイデアの提供など、より一層の協力をお願いいたします。

今年もまた一番忙しい時期が近づいてまいりました。お身体に気をつけて御活躍下さいますよう心よりお祈り申し上げます。

広報委員 高橋・岡野・中井(典)